岸和田市景観LPP

メンバー
野田和貴② 和泉太輔③ 山田裕大② 岩﨑悠花② 青木真結②
浅田歩実② 石田彪我① 内田真央① 古賀彩① 廣川剛彦①

岸和田景観LPPについて

私たち岸和田景観LPPは、大阪府岸和田市に多く存在する景観資源を広く市内外へPRすることを目的に、岸和田市都市計画課の方々と連携して活動しています。 岸和田市では「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」として、毎年市民から景観資源を募集し、指定する取り組みを行っています。私たちはこれらの景観資源を何か有効活用できないかと考え、岸和田市の景観資源をめぐるウォーキングイベントを実施することにしました。今年度は、イベントの企画や準備、運営などを主な活動として行いました。

2021年度春の調査内容

昨年度の春休み期間に景観資源に関する分析とインスタグラムを使ってのアンケート調査を行いました。まず、2021年12月の現地調査で訪れた23か所の景観資源を、アクセスや場所のわかりやすさ、周辺環境、事前写真との対比などの項目に分け、分析を行いました。景観資源が住宅街の中にあったり、道の一部が景観資源に指定されていたりするものも多く、探すのに非常に苦労したという意見がメンバーの中で多くでました。一方で、写真以上の迫力で圧倒される場所も多くあり、今後の活用へとつながる結果となりました。次に、若者がどのような場所に魅力を感じ、そこへ訪れたいと思う傾向があるのかを知るために、インスタグラムを利用して景観資源についてのアンケート調査を行い、86人からの回答を得ました。岸和田市の訪れてみたい景観資源を3つ選んでもらう質問では、上位3つはどれも自然に関係する場所という結果であり、若者をターゲットにするには自然の豊かさを売りにした周遊ルートや観光ツアーを作るべきなのではないかと考えました。

↑「こころに残る景観資源」の評価分析シート

インスタグラムでのアンケート結果↗
（岸和田市の訪れてみたい景観資源）

ウォーキングイベント「きしわだウォークラリー」

11月27日(日)に、岸和田の景観資源を巡るウォーキングイベントを開催しました。イベントを開催するにあたり、円滑に進めていくために、①着ぐるみ交渉等の準備を行う着ぐるみ班、②イベントポスターの制作やイベント情報のPRを担当する広報班、③当日に使用するマップを作成するマップ班の3つに分かれてイベントに向けて準備を行いました。

当日は、天気にもめぐまれ、40人を超える幅広い世代の方々に参加して頂きました。大阪府が取り組んでいる景観資源のフォトイベントを併せてPRするなど岸和田市の景観資源の魅力の発信に貢献できました。また、スタート地点とゴール地点に設置した着ぐるみの集客効果は予想以上に高く、イベントに興味を持ってもらうためのきっかけを作る役割を果たしました。参加者の方々から「知らなかった美しい景観資源を知ることが出来た」等の意見を頂くなど、参加者の満足度が高い結果になりました。

↑イベントで使用したマップ

↑イベントポスター

アンケート分析

イベントの実施に伴い、参加者が景観資源をどれほど認知しているかについてのアンケート調査を行いました。計13名の方から回答を頂き、そのうち岸和田市内在住の方が5名を占め、市外から訪れた人のほうが多い結果となりました。

ウォーキング中に印象に残った場所を答える質問では、1位から岸和田城、岸和田港、紀州街道・自然資料館と、景観資源に指定されている場所の多くが3位までを占めました。イベントに対する満足度は全体を通して高かったものの、「ウォークラリーの道中にもう少し工夫が必要である」という意見も頂き、着ぐるみだけではなくコース内にも参加者を惹きつける何かを取り入れる必要があると感じました。

今後の課題

初めて自分たちでイベントの企画から運営までを担当し、様々な課題点が見つかりました。主な課題として、ルート内の工夫不足やゴール地点のわかりにくさ、スタート地点での参加人数に対してゴールまでたどり着いた人が少なかったこと、往復の時間も考慮したルート設定、アンケートの回収率の低さ、準備段階では段取り不足や各班の共有不足が挙げられます。しかし、それ以上にイベントから学んだことも多くありました。

来年度はこれらの反省点を活かし、3年間の本プロジェクトの集大成として、景観資源の更なる活用方法を考え活動していきます。